

●サクラメント市「父親と家族のためのセンター」を視察して

副団長 長野 昌子

「父親と家族のためのセンター」CENTER FOR Fathers and Families(以下「CFF」という。)は父親がいないことによる社会的、経済的影響に対処するため、父親の役割を呼びかける必要性を感じた Matthew C. Crain (マシュー・クレイン)氏が1994年に会長となり非営利団体として設立された。



(CFFの外観)

3年後の、1997年に Rick Jennings, II (リック・ジェニングズ)氏がCFFの会長(CEO)に就任し、サクラメント市920 Del Paso BlvdにCFF本部を設立。

リック・ジェニングズ氏はサクラメント市の市議会議員である。2016年と2017年に、サクラメント市の副市長も務め、

2016年には、姉妹都市提携35周年記念訪問団の団長として松山市を訪れた。その際には「アメリカ・サクラメントの事例から学ぼう父親の子育て参加促進のための方策」と題してCFFについての講演を行っている。

その中でCFFの事業目的の3本の柱を以下のように紹介した。

- ① 若者が良い進路にすすめること
- ② 親が成功するための手助け
- ③ 家族に力を与え、一緒に仲良く暮らすこと

CFFの利用者は年間5,300人程度であり、低所得者には、以下の3種類に分類されるサービスを提供している。

- ① 父親サポートグループによる法律相談・裁判所の申請書類作成の補助や子どもの支援補助、家庭内暴力に関する教育や怒りの管理のトレーニング、人間関係のアドバイスや短期的な経済支援
- ② 子どもに教育的機会を与え放課後を有意義に過ごすことができるようになるマスターズプログラム（1日に2,500人が利用している。）
- ③ 大人と子ども両方を対象に健康財団と連携し、スポーツを指導・奨励し、健康増進の働きをするプログラム
（講演会内容より抜粋）

今回の視察団員には、2016年に開かれた講演会に出席したメンバーはいなかったが、以上のことを踏まえCFF本部に視察に向かった。

会長のリック・ジェニングズ氏に歓迎していただき、彼自らCFF本部の案内をしてくださった。

最初に通された部屋は薬物検査室であった。
薬物反応が出た場合でも、偏見を持つことなくケアにあたっているようだ。

次の部署では「大変重要な資金調達を担っているディレクターを紹介する」と前置きをした上で、彼らは企業に対してCFFの目的・今後の抱負などを語って、協力をお願いし、資金調達をおこなっている。また、彼らは資金調達だけではなく、施設をより良くするための計画も立てている。との紹介がなされた。

CFFの主な資金は企業からの寄付であることから、彼らの仕事には敬意を表している。と私たち



（薬物検査室）

に説明され、CEOとしてスタッフが働きやすい環境づくりに配慮されていることを感じた。



(リック・ジェニングズ会長から説明)

次に案内されたのは、書籍に囲まれた6畳ほどの広さに8人掛けの大きなテーブルが配置されたリック・ジェニングズ会長の部屋であった。1997年に会長に就任し、5年間は1人で3人分に匹敵する仕事をされてきた苦労談を話された。そして、赤ちゃんを抱っこした10代の女の子たちの写真を見せながら、いちばん最初に行

ったプログラムは10代の妊娠についてであったと語られた。中学校10校に行き1,000人の女生徒たちに妊娠について話をしたそうである。

また、最近の取り組みについても話された。それは、自分の健康について無頓着な男性に、医療機関と連携して、健康志向を推進することである。2019年のCFFの目的にも掲げているようだ。

最後に紹介してくださったのは「マスターズプログラム」についてである。

マスターズプログラムとは、センター内や小中学校で放課後の時間帯に低所得層の子どもたちに宿題の支援、レクリエーション、健康とウェルネスの活動、教育を提供するものである。実際に



(チームリーダーに紹介)

指導ををおこなっているチームリーダーと呼ばれる14名にさせていただ

た。皆さんは、自己紹介とチームリーダーをしていて楽しいと思うことを話してくださり、異口同音に「子どもたちが成長する姿を見るのが楽しい。」と言われていた。また、どういうことに気をつけて子どもたちと接しているかとの問いには「子どもたちは一人一人性格や生まれ育っている環境が違うので、その一人一人の個々を知るようにしている。」との返答があった。

子ども時代にマスターズプログラムのサービスを受けていたというチームリーダーには、センターで学んだことを聞いてみた。「自分が必要な何かを誰かに求めてもいいということを学んだ。」との返答があった。

大切なことは、ここで育った子どもたちが次の世代の子どもたちのお手伝いができるように成長すること。成長した子どもが父となり母となり次の世代に繋がっていく。教育の大切さを改めて感じることでできる視察であった。

終わりに、今回の視察に際し、企画、準備、円滑な履行にご支援、ご協力をいただいた、多くの方々に感謝を申し上げます。



(リック・ジェニングズ会長らとともに)